

吉崎いずみ通信 vol.8

渋谷区議会議員 吉崎いずみ

2025年第1回定例会号

——渋谷区議会区政報告——



発行：渋谷区議会公明党 東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内

吉崎いずみが提案したHPVワクチン接種の案内方法が採用へ！

**吉崎が提案した女性の健康相談が拡充へ！
本町エリアの子育て支援施設強化を提案！**

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年2月20日（趣意）

安心・安全

防犯用品購入・設置費用助成について

質問 我が会派は本年1月7日、昨今の闇バイトなど、強盗犯罪から区民の生活を守るため、カメラ付きインターホンや防犯フィルム等、防犯用品購入・設置費用助成の緊急要望を行いました。

来年度、いよいよ防犯用品購入・設置費用助成が始まります。今回の助成の対象、金額、品目など詳細を教えてください。

答弁（区長）対象は区民、金額は機器本体及び工事費の2分の1補助で、1世帯の上限は2万円です。品目は家庭用防犯カメラ、カメラ付きインターホン、防犯フィルムなど防犯用品全般が対象です。

区内主要道路の一点検について

質問 埼玉県八潮市で起きた道路陥没を受け、直径2メートル以上の下水管について、腐食などの異常がないか点検するよう都道府県などに通知しています。そこで現在、渋谷区において路面下空洞調査はどのように行わ

子育て支援

子育てひろばについて

答弁（区長）路面下空洞調査については幹線及び重要道路のほか、生活道路を含めて、今年度に全域の調査が完了しました。

質問 いよいよ4月より「渋谷本町こども園」が開設され、本町の子育て支援センターが移転し、子育てひろばとして併設されます。

今後展開される「本町エリアをネットワークで繋ぐ子育て支援」の子育てひろば、相談支援、一時預かり保育など、どのような連携でサポート支援を行なっていくか、体制を教えてください。

また本町エリアにおける子育て支援センターの今後の在り方として、相談業務と短期緊急保育もできる「新・本町子育て支援センター」を

渋谷区子育てネウボラのサテライト拠点として整備を検討して頂きたいと思えます。

答弁（区長）新設する子育てひろばについては、限られたスペースではありますが職員体制を整え、相談機能を持たせ、保健相談所や子ども発達相談センターの専門相談も継続する予定です。

また、フレンズ本町や新たな区民施設の会議室において、本町子育て支援センターで行われてきた季節ごとの伝統行事を始め、協働による地域交流の場も多く作る予定です。

議員ご提案の「新・本町子育て支援センター」の設置に関しましては、区内全体における子育てネウボラのサテライト整備の中で、早急に検討してまいります。



渋谷本町こども園

教育

不登校対策について

質問 我が会派は、不登校やクラ

我が会派は、不登校やクラスに馴染めない等の理由で、教室に居れない児童・生徒が落ち着く学校内への設置を提案してきました。

不登校を未然に防ぐ取り組みをどの様に検討しているのか、また学校内の落ち着いた空間で学習・生活できる環境づくりをどう支援をしていくか伺います。

答弁（教育長）来年度から、別室での支援体制を強化します。

また、学校と家庭を連携する支援員を全校に配置するほか、中学校には不登校対応の巡回教員を配置し、モデル校には校内別室指導支援員を配置します。

これらにより、更に安心できる居場所づくりを進め、一人一人の児童・生徒に寄り添った支援を充実させてまいります。

福祉

本町五丁目障がい者福祉施設について

質問 令和8年に本町五丁目障がい者福祉施設が開設されます。

この施設には4つの事業が開されることになっておりますが、その概要と、今後の展望を教えてください。

また区内で初めて設置される体験の事業は、ご家族の方も大変期待をされていると思います。既存の福祉施設も含めて、整備を進めて頂きたいと思えますが、

今後の展望を教えてください。

答弁（区長）本施設における4つの事業概要ですが、「ちよこつとステイ事業」は、家族の病気や冠権葬祭など急な用事に対応するものです。「体験の場事業」は、利用者の自立に向け一人暮らしやグループホームでの暮らしを体験することができ、「放課後等デイサービス事業」は、日中時間や放課後等の居場所を提供し、「集いの場事業」は障がいの有無に関わらず利用者や地域の方が交流できる事業となります。

「体験の場事業」については、本施設において事業を開始したのちに、事業内容の検証を行わないながら既存の福祉施設への展開を検討してまいります。

フレイル予防について

質問 我が会派が導入を提案した時から「地域ぐるみで介護予防の取り組みを行い、フレイル予防運動を広げること」が重要であると推進してきましたが、現在、地域ぐるみで取り組まれている事例がありましたらご紹介下さい。

答弁（区長）一例ですが、渋谷区オリジナル体操である「若返るダイヤモンド体操は、現在区内12カ所で開催されており、各会場ではリーダー養成講座を受講した地域の運営リーダーが中心となり、住民主体の活動として年間を通じて運営されています。



健康

带状疱疹ワクチン助成について

質問 我が党が国会質問や政府への提言で一貫して定期接種化を訴えてきました。

発症する人の割合は70歳代が最も高く、80歳までに約3人に1人が発症するといわれ、希望する高齢者の接種を後押しする意義は大きいと思います。

令和7年度4月より定期接種が始まります。まず定期接種の対象者について詳細を教えてください。

また定期接種の周知方法について伺います。そして、ワクチン助成の周知方法についても丁寧な対応が必要だと考えています。

答弁（区長）新年度から開始される定期予防接種の対象者は、65歳から95歳の5歳刻みの年齢の方、及び100歳以上の年齢の方となり、接種費用を全額公費で助成します。

また、より多くの方に接種していただくため、本年4月に全

ていただくため、本年4月に全

ての定期予防接種対象者へ個別通知を送付し、区ウェブサイトに区ニュースなどでも周知していく予定です。

50歳以上の定期予防接種対象外の方には、任意接種として一部接種費用の助成を継続し、区ウェブサイトに区ニュースなどで周知を図っていきます。

HPVワクチン助成について

質問 昨年の第一回定例会で我が会派より提案した子宮頸がん（HPV）ワクチンの男性接種助成が始まりました。

男女共に接種をすることによりHPV感染のリスクを劇的に減らすことができると考えます。

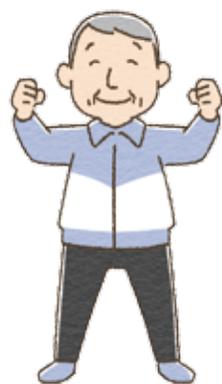
また、第3回定例会において私が、11歳から13歳に接種のDT二種混合2期の案内時にあわせての発送を提案しましたが、今回の周知方法について教えてください。

答弁（区長）HPVは女性では子宮頸がん、男性では中咽頭がんや肛門がんの原因となり、予防接種は重要と考えます。

認知度の向上のため、昨年9月より区内医療機関でポスターを掲示しているところです。

また、新年度に向けて接種対象年齢直前の定期予防接種である、11歳へのDT二種混合ワクチンの個別通知送付の機会を利用して、男性のHPVワクチンの任意接種費用補助制度の案内を同時

に行う準備を進めています。



女性の健康相談事業の拡充について

質問 我が会派は、女性の健康事業について提案をしてきました。

令和6年度は女性専門健康相談を3回、それぞれ4枠の予約制で行っていただきました。

大変需要があり、多くの方から拡充していただきたいとの声をいただいております。

令和7年度の事業の詳細を教えてください。また各保健所ごとに地域密着の開催が望まれているかがでしょうか。

答弁（区長）女性医師による更年期障害を含めた幅広い、女性の悩みに対応した健康相談事業をさらに進めるため、新年度の開催回数と各回定員の増加に向けて、事業に協力していただいている渋谷区医師会と協議を行っているところです。

議員ご提案の実施場所の拡充についても、区民にとってより利用しやすくなるよう検討していきます。



——もっと元気に！区政に生活者の視点を——
みなさまの声をお聞かせください！

よしざき

渋谷区議会議員

吉崎 いずみ



〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1 TEL. 03-3463-1036
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室 FAX. 03-5458-4962

twitter